

かんでつ 貫徹通信

発行責任者：藤沢市議会議員 おおや 徹

2月定例議会報告

発行日 2017年4月 【第30号】
発行者 大矢 徹（おおや とおる）
連絡先 藤沢市鶴沼藤が谷4-17-5~302
【自宅】0466(47)8255
【携帯】090-8850-6062
<http://www.ohyatoru.com/>
[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)



2017年3月22日 予算討論

2月藤沢市議会定例会が、2月16日から3月22日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成29年度一般会計予算他9特別会計予算、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、藤沢市市政運営の総合指針2020基本方針の策定、藤沢市地震対策条例の一部改正、藤沢市下水道条例の一部改正などです。

私は、市側が提案した議案に賛成し全て可決されました。

なお、平成29年度一般会計予算は1,527億8,400万円（前年比107.8%）、特別会計予算は1,326億6,132万8千円（前年比103.6%）となり、総額2,854億4,532万8千円で、前年比105.8%となりました。

【平成29年度予算に対する意見・要望】

平成29年度予算に対して、各会派の討論が行われ、私が所属する「民主クラブ」からは、私が賛成の立場で討論を行い、多岐に渡って様々な提言をしました。概要は次のとおりです。

【東京オリンピック・パラリンピックについて】

●メモリアル施設について

1世紀の間に2度江の島でセーリングが開催されることから、江の島を「セーリングの聖地」としてメモリアル施設を整備していくことを提案した。

新たな回遊性向上のとりくみをお願いします。

～ちょっとメモ～

1964年のオリンピックを記念して江の島の北緑地広場に「弁財天と世界女性群像噴水池」が作られ、平成10年のかながわ国体時に、移設がされました。

当時、私は市の職員としてこの移設工事の設計・監督を担当しました。ある旅行会社の「藤沢・江の島名所・史跡満足度ランキング」では第25位となっており、少し誇らしい気持ちになりました。

●バリアフリー化について

今議会で江の島バリアフリー化基本計画（案）が示された。急勾配や階段などの形状から抜本的な解消は困難だが、4月6日に行われる江の島救急車運用開始等も踏まえて早期のバリアフリー実現を要望する。

●文化プログラムについて

オリンピックはスポーツだけではなく、「平和・文化」の祭典でもある。姉妹都市であるマイアミビーチ市のバレエ団（全米トップクラス）と本市の市民オペラの共演などの企画を提案したが、将来語り継がれる思い切った企画・事業を展開してほしい。

【指定管理者制度について】

制度の導入から10数年が経過し、様々な評価が聞かれるようになった。当時、国は「住民サービス向上と経費の縮減」を目的としていたが、現在は「公共サービスの水準確保」という観点を重視している。

本市における指定管理者として多くの管理を行っているのは市の出資団体であるが、団体に大きく影響するのが、「経費節減と指定管理期間の5年」である。5年ごと

に退職の不安を職員が感じる制度は公の立場として好ましくない。市の出資者としての責任を果たしうる制度見直しが必要である。

【環境施策について】

●サーマルリサイクルの推進

容器包装プラスチックの処理については、かねてから焼却する方向性で見直しを求めてきたが、市としては国の方針に沿ってリサイクルを推進していくとの事だった。しかし、サーマルリサイクルへ転換する自治体も出てきており、今後、サーマル転換による熱回収・処理費用・収集費用・CO2削減効果の比較検討を要望する。

※サーマルリサイクルとは

→廃棄物の焼却の際に発生する熱エネルギーを回収し利用すること。

●資源品目戸別収集の地域課題について

鶴沼地区における段ボールの戸別収集化に向けた検討については、現在同地区における宅地の細分化の急激な進行によって、これまで塀沿いだった集積場所が分譲で玄関先等になるケースが増え、トラブルの原因となり得ることや、狭あい道路が多いため交通への支障も懸念される。ネット通販で段ボールの排出量増加は顕著であることから、実施に向けた検討を望む。

【本市の支援教育について】

本市の支援教育理念は、全国的にも評価を受けており、今回の代表質問でも、吉田教育長から「今後、教職員の指導力向上、児童支援担当教諭配置による校内支援体制の構築・整備」などを課題に挙げ、真摯に取り組むことで、子どもたち一人ひとりが抱える問題に、よりきめ細かく対応していくためにも「藤沢の支援教育」を推進していくことのであった。

今後体制が変わったとしても藤沢の「支援教育」が不変なものとして継承されることを望む。

【子どもの貧困対策について】

●給付型奨学金制度について

本市独自の制度が創設されたことについて高く評価する。世田谷区では給付型奨学金制度の原資として基金を設立して寄附を呼びかけたところ、1ヶ月で280万円が集まった（大口ではなく小口の積み上げで）。

本市の教育応援基金に寄附が集まるよう十分な周知を望む。

●住宅支援

世田谷区は奨学金と合わせて区営住宅を対象に家賃負担を1万円とする住宅支援も行った。児童養護施設を退所した後に直面する課題への対応についても重要であることから更なる支援策として検討してほしい。

●貧困状況の実態調査を！

予算委員会でも貧困に起因した妊婦検診未受診での出産といったケース等について質問した。既存事業についても、「子どもの貧困」といった視点で見直しをする必要があると考える。その土台を作るためにも実態調査を実施してほしい。

●（仮称）若者サポート事業

支援の窓口にとどり着く事が出来ない「引きこもり」状態の人やその家族へのアウトリーチ型の支援については、市内中学校や高校への訪問・ユースワークふじさわでの市民センター、公民館での出張相談を実施してきたとのことだが、その出張相談窓口にも辿り着け

ない方もいるという認識も必要。さらなるアウトリーチ型の支援のとりくみを要望する。

※アウトリーチ型支援とは

→支援が必要な方に対して相談窓口等に来てもらうのではなく、自宅等に出向いて相談にのること。

【介護保険の新総合事業について】

10月に実施予定の新総合事業の訪問型サービスBについて、具体的な協議が遅れているため、今議会で報告がされなかったが、地域の縁側事業との役割分担など、課題整理が必要であり、実施しないと決めている自治体もある。拙速な導入をせず、課題の解消に努めて欲しい。

【学校給食調理室への空調整備について】

現在、11校が未整備となっているが、平成31年度を目途に進めているとのことであった。この間指摘し続けているが、職員は夏場40度を超える暑さで安心・安全な給食を作り続けている。死亡事故に繋がる危険性もあり、労働安全衛生の観点からも遅れは許されない。

【認可外保育施設への立ち入り検査】

兵庫県姫路市における認定こども園の不正発覚・認定取り消しの報道を踏まえ、本市も子育て関連事業所等に補助を行っているが、本市において「仕組み」としてこのような不正を行う事ができるのか検証をすべき。

【その他の報告事項について】

●村岡公民館の再整備

村岡公民館は、これまで地域経営会議や郷土づくり推進会議から提出された提言や要望等を踏まえる中で、移転再整備が検討されてきましたが、今回、新たな施設として整備することが次のとおり報告されました。

【所在地】 村岡東1-5-8（村岡新駅の隣接地）

【敷地面積】 3,905㎡

現時点では公民館と複合化する施設として、市民図書室・地域包括支援センター・地区ボランティアセンター・第6分団置き場が検討されています。平成32年度に実施設計の予定となっています。



前回、私が昨年食した中で「コレだっ！」というお店を「2016食メシベスト3」としてをご報告させていただいたところ、見てくださった方から非常に多くの反響をいただきました。

今回も私の好きなお店をご紹介します。



「つるや食堂」

藤沢駅の南口、奥田センターにあるノスタルジックな雰囲気のある食堂です。

ラーメンも「これぞ昭和のラーメン！」といった感じで、飽きのこない味です。

最近はラーメンの専門店が増えていますが、「まちの中華屋さん」は担い手不足で年々少なくなっているように感じます。



つるや食堂ではラーメンのほかにもタンメン・焼きそば・餃子・チャーハン・レバニラ炒め・カレーライスなどさまざまなメニューが揃っていて、こういったお店から昔は出前を取って食べるのをとても楽しみしていたなと懐かしく思い出します。

こういうお店はいつまでも残っていてほしいです。

おおや 徹
興味を持ったら...
ホームページを
ご覧ください!

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたレポートなど、多岐にわたりアップしています。写真も多く載せてあり楽しいですよ♪
ダイエット企画「大盛・セット食べません」シリーズも継続中。美味しいお店・料理も紹介していますが、ダイエットの行方も期待してください！

また、議会状況も自分が所属する委員会以外も極力傍聴して結果報告を随時アップしています。今藤沢市が直面している課題を分かりやすく説明するよう心掛けています！

おおや 徹 検索

クリック



QRコード